

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月11日

上場会社名 株式会社音通 上場取引所 東
 コード番号 7647 URL <https://ontsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6372-9100
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	1,992	△67.7	130	38.1	122	50.4	96	—
2022年3月期第2四半期	6,160	△7.4	94	△40.2	81	△44.3	△69	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 96百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △69百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2023年3月期第2四半期	円 銭 0.48	円 銭 —
2022年3月期第2四半期	△0.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2023年3月期第2四半期	百万円 5,804	百万円 2,906	% 50.1
2022年3月期	5,983	2,869	47.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 2,906百万円 2022年3月期 2,833百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2022年3月期	円 銭 —	円 銭 0.12	円 銭 —	円 銭 0.12	円 銭 0.24
2023年3月期	—	0.12	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	0.12	0.24

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,050	△50.1	165	2.7	140	3.2	105	1.8	0.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) - 、除外 社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	203,142,645株	2022年3月期	203,142,645株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,410株	2022年3月期	2,410株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	203,140,235株	2022年3月期2Q	199,282,923株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における経営成績は、売上高は1,992,056千円（前年同四半期比67.7%減）、営業利益は130,896千円（同38.1%増）、経常利益は122,659千円（同50.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は96,686千円（前年同四半期は69,124千円の損失）であります。

a. カラオケ関係事業

当セグメントでは、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸並びに卸売事業を行っております。顧客であるカラオケ関係事業者の多くは通常営業に戻っており、当セグメントの事業活動におきましても、顧客店舗のサポートや新規オープン予定店舗に対する営業活動も活発化してまいりました。

この様な状況により当セグメントの業績は、売上高は955,204千円（前年同四半期比13.6%増）、セグメント利益（営業利益）は114,838千円（同4.3%減）となりました。

b. スポーツ事業

当セグメントは、スポーツクラブ「JOYFIT」を2店舗、24時間型フィットネス・ジム「JOYFIT 24」を18店舗、フィットネス・ジム「FIT365」を7店舗、ホットヨガスタジオ「LAVA」を1店舗、合計28店舗を運営しております。新型コロナウイルス感染拡大の波はあるものの会員数は着実に増加しており、当セグメントの業績は、売上高は828,583千円（同4.1%増）、セグメント利益（営業利益）は57,729千円（同241.5%増）となりました。

c. IP事業

当セグメントは、店舗及び住宅の賃貸並びにコインパーキング「T.O.P. 24h」の運営をしております。コインパーキング事業におきましては、当第2四半期連結会計期間末日現在、大阪府、兵庫県、京都府におきまして56カ所892車室のコインパーキングを運営しております。

前事業年度に食料品・生活雑貨小売事業から撤退したことによる管理物件減少の影響があるものの、店舗及び住宅の賃貸並びにコインパーキングの運営はいずれも安定して推移しております。また、管理体制を見直すなどして経費の圧縮も実施した結果、当セグメントの業績は、売上高は208,268千円（前年同四半期比14.8%減）、セグメント利益（営業利益）は28,118千円（前年同四半期比69.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

a. 資産

流動資産は、小幅な変動に止まり、2,185,576千円（前連結会計年度末比14,929千円の減少）となりました。

固定資産は、引き続き設備投資を抑制しているため3,616,897千円（同163,690千円の減少）となりました。

また、繰延資産は、2,251千円（同445千円の減少）となりました。

この結果、総資産は、5,804,725千円（同179,065千円の減少）となりました。

b. 負債

流動負債は、1,199,129千円（同536,903千円の減少）となりました。これは主として、金融機関からの借入資金の借り換えを実施したため1年内返済予定の長期借入金が487,143千円減少するなどしたことによります。

固定負債は、1,699,382千円（同321,012千円の増加）となりました。これは主として、金融機関からの借入資金の借り換えを実施したため長期借入金が462,363千円増加する一方、設備投資の抑制により長期割賦未払金が133,953千円減少するなどしたことによります。

この結果、総負債は2,898,512千円（同215,890千円の減少）となりました。

c. 純資産

純資産は、2,906,213千円（同36,825千円の増加）となりました。これは、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益として96,686千円増加する一方で、剰余金が配当により24,376千円減少したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期における連結業績予想は、2022年8月5日に公表しました「2022年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載した数値から修正しておりません。2022年11月10日に公表しました「業績予想の修正に関するお知らせ」に記載した通り、通期の業績予想につきましては、修正が必要となりましたら速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,550,686	1,522,455
受取手形及び売掛金	394,353	411,698
商品及び製品	30,173	47,397
原材料及び貯蔵品	3,690	3,383
前払費用	171,210	169,160
預け金	219	667
その他	52,723	33,240
貸倒引当金	△2,551	△2,426
流動資産合計	2,200,505	2,185,576
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	1,303,923	1,318,468
建物及び構築物(純額)	864,205	824,207
土地	445,835	445,835
その他(純額)	357,241	289,994
有形固定資産合計	2,971,205	2,878,505
無形固定資産		
のれん	32,542	22,704
その他	10,752	10,117
無形固定資産合計	43,294	32,821
投資その他の資産		
投資有価証券	130,183	131,534
建設協力金	54,775	48,411
差入保証金	315,298	296,631
繰延税金資産	187,563	180,551
その他	92,164	61,324
貸倒引当金	△13,897	△12,881
投資その他の資産合計	766,087	705,570
固定資産合計	3,780,588	3,616,897
繰延資産	2,697	2,251
資産合計	5,983,791	5,804,725

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	82,648	99,135
1年内返済予定の長期借入金	1,038,656	551,513
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
未払金	45,904	46,374
1年内支払予定の長期割賦未払金	334,292	288,253
未払法人税等	40,340	41,255
資産除去債務	428	22,069
その他	153,763	110,527
流動負債合計	1,736,033	1,199,129
固定負債		
社債	100,000	80,000
長期借入金	566,904	1,029,267
長期割賦未払金	361,935	227,981
役員退職慰労引当金	123,122	129,189
退職給付に係る負債	64,944	65,659
資産除去債務	40,398	40,725
その他	121,064	126,559
固定負債合計	1,378,369	1,699,382
負債合計	3,114,402	2,898,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,725,920	1,725,920
資本剰余金	1,016,400	1,016,400
利益剰余金	91,669	163,979
自己株式	△87	△87
株主資本合計	2,833,904	2,906,213
新株予約権	35,484	-
純資産合計	2,869,388	2,906,213
負債純資産合計	5,983,791	5,804,725

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	6,160,371	1,992,056
売上原価	3,915,346	1,025,333
売上総利益	2,245,025	966,723
販売費及び一般管理費	2,150,212	835,826
営業利益	94,813	130,896
営業外収益		
受取利息	1,438	788
持分法による投資利益	1,222	1,350
受取保険金	555	447
受取奨励金	1,601	1,659
受取給付金	4,220	2,750
その他	2,720	792
営業外収益合計	11,758	7,788
営業外費用		
支払利息	16,777	8,172
社債発行費償却	496	381
支払保証料	197	65
その他	7,530	7,405
営業外費用合計	25,001	16,025
経常利益	81,570	122,659
特別利益		
新株予約権戻入益	863	35,484
資産除去債務戻入益	15,041	-
特別利益合計	15,905	35,484
特別損失		
固定資産除却損	165	337
店舗閉鎖損失	95,068	21,641
新型コロナウイルス関連損失	7,832	-
事業譲渡損	30,000	-
棚卸資産処分損	59	-
特別損失合計	133,125	21,979
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△35,649	136,164
法人税、住民税及び事業税	29,869	32,465
法人税等調整額	3,605	7,011
法人税等合計	33,474	39,477
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,124	96,686
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△69,124	96,686

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△69,124	96,686
四半期包括利益	△69,124	96,686
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△69,124	96,686

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△35,649	136,164
減価償却費	390,397	310,373
のれん償却額	8,996	9,837
社債発行費償却	496	381
貸倒引当金の増減額(△は減少)	2,859	1,527
株式報酬費用	39,693	30,192
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,707	715
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	2,742	6,067
受取利息及び受取配当金	△1,438	△788
支払利息	16,777	8,172
新株予約権戻入益	△863	△35,484
店舗閉鎖損失	95,068	21,641
資産除去債務戻入益	△15,041	-
新型コロナウイルス関連損失	7,832	-
売上債権の増減額(△は増加)	△25,039	△19,635
棚卸資産の増減額(△は増加)	△10,513	△16,916
仕入債務の増減額(△は減少)	58,165	15,229
事業譲渡損益(△は益)	30,000	-
その他	△50,448	△22,384
小計	517,741	445,092
利息及び配当金の受取額	1,438	792
利息の支払額	△17,323	△8,184
法人税等の還付額	4,815	21,471
法人税等の支払額	△61,457	△54,421
営業活動によるキャッシュ・フロー	445,214	404,751
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△161,127	△208,532
長期貸付金の回収による収入	380	283
建設協力金の回収による収入	12,928	6,364
差入保証金の差入による支出	△1,920	△1,000
差入保証金の回収による収入	10,544	19,667
預り保証金の返還による支出	△1,131	△2,702
預り保証金の受入による収入	13,151	7,576
事業譲渡による支出	△30,000	-
投資有価証券の取得による支出	△100,000	-
無形固定資産の取得による支出	△850	-
資産除去債務の履行による支出	△8,171	-
定期預金の払戻による収入	-	230,267
投資活動によるキャッシュ・フロー	△266,194	51,924

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	-	870,000
長期借入金の返済による支出	△780,386	△894,780
社債の償還による支出	△680,000	△20,000
割賦債務の返済による支出	△238,385	△177,593
リース債務の返済による支出	△18,321	△8,055
株式の発行による収入	2,320	-
配当金の支払額	△23,469	△24,180
その他	△71	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,738,313	△254,639
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,559,293	202,036
現金及び現金同等物の期首残高	2,959,171	1,320,418
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,399,877	1,522,455

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い

当社及びすべての国内連結子会社は、第1四半期連結会計期間から、連結納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第42号 2021年8月12日。以下「実務対応報告第42号」という。)に従っております。また、実務対応報告第42号第32項(1)に基づき、実務対応報告第42号の適用に伴う会計方針の変更による影響はないものとみなしております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	食料品・生活 雑貨小売事業	カラオケ関係 事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高					
顧客との契約から生じる収益	4,279,249	840,785	796,017	117,497	6,033,548
その他の収益	—	—	—	126,821	126,821
外部顧客への売上高	4,279,249	840,785	796,017	244,318	6,160,371
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,269	91	—	71,528	76,888
計	4,284,519	840,877	796,017	315,847	6,237,260
セグメント利益又は損失(△)	△11,434	120,037	16,902	16,596	142,101

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	142,101
セグメント間取引消去	16,526
全社費用(注)	△63,814
四半期連結損益計算書の営業利益	94,813

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	カラオケ関係 事業	スポーツ事業	I P 事業	計
売上高				
顧客との契約から生じる収益	955,204	828,583	128,606	1,912,394
その他の収益	—	—	79,662	79,662
外部顧客への売上高	955,204	828,583	208,268	1,992,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	79	—	68,917	68,997
計	955,284	828,583	277,186	2,061,054
セグメント利益	114,838	57,729	28,118	200,686

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	200,686
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△69,790
四半期連結損益計算書の営業利益	130,896

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度において、連結子会社であった株式会社音通エフ・リテールと株式会社ニッパンの株式の全てを譲渡し、連結の範囲から除外したため、第1四半期連結会計期間より「食料品・生活雑貨小売事業」を報告セグメントから除外しております。